

平成27年度 第1回 奈良県動物愛護管理推進協議会 議事要旨

【日時】平成27年6月10日（水） 14時00分～16時00分

【場所】県北分庁舎 1階 1A会議室

【出席者】協議会委員 向井 務、伏見 誠、大西 英人、向井 潤吾、藤田 善弘、  
矢富 直樹、姫野 隆昭  
奈良県 暮らし創造部長、事務局（奈良県暮らし創造部消費・生活安全課）

【議事次第】

委員紹介

委嘱式

暮らし創造部長挨拶

議事

1. 会議の運営について
  - ・協議会設置要綱について
  - ・会長選出・会長代理指名について
  - ・議事録公開の可否検討について
2. 県動物愛護管理行政の現状について
  - ・動物愛護管理関係法令について
  - ・概況について
3. 動物愛護推進員の推薦・委嘱について
4. その他

- 【配付資料】
1. 奈良県動物愛護管理推進協議会設置要綱
  2. 動物の愛護及び管理に関する法律(抄)
  3. 動物の愛護及び管理に関する法律のあらまし（リーフレット）
  4. 動物の愛護及び管理に関する施策を総合的に推進するための基本的な指針（環境省告示）
  5. 家庭動物等の飼養及び保管に関する基準（環境省告示）
  6. 奈良県動物の愛護及び管理に関する条例の概要
  7. 奈良県動物愛護管理推進計画（概要版）
  8. うだ・アニマルパーク（リーフレット）
  9. 奈良県うだ・アニマルパーク動物愛護センターへようこそ！（リーフレット）
  10. 奈良県動物愛護推進員の委嘱（案）
  11. 奈良県動物愛護推進員委嘱要綱（案）
  12. 推進員の委嘱スケジュール（案）

## 【議事要旨】

### 1. 会議の運営について

- ・協議会設置要綱について

資料 1. に基づいて説明。

- ・会長選出・会長代理指名について

奈良県動物愛護管理推進協議会設置要綱第 4 条第 1 項に基づき、委員の互選により、会長に姫野委員が推薦され承認。

同第 4 条第 3 項に基づき伏見委員が会長代理に指名。

- ・会議の公開の要否について

公開していない自治体が多い現状ではあるが、本県は会議に関心をお持ちの方への情報提供のため、議事の要旨については、会議後日にくらし創造部消費・生活安全課ホームページに掲載する（ただし、確定していない案である資料は掲載しない）ことで合意。

### 2. 県動物愛護管理行政の現状について

- ・動物愛護管理関係法令について

資料 2 から 6 に基づき、協議会の議論のベースとして関係法令について確認。

#### (資料 2)

動物の愛護及び管理に関する法律 第 38 条第 1 項により都道府県知事は動物愛護推進員を委嘱することができるとされ、同条第 2 項により、動物愛護推進員の行うべき活動を規定。同法第 39 条により協議会を組織することができると規定。

#### (資料 3)

動物愛護推進員と協議会について、7 ページに記載。

#### (資料 4)

施策別の取組として、動物愛護推進員と協議会について、8 ページ「第 2 の 2 (9) 人材育成」に記載。

#### (資料 5)

推進員活動の主な対象である、家庭動物等に関する基準。

#### (資料 6)

奈良県の条例の概要。

- ・概況について

資料7から9に基づき、奈良県の施策及び概況について確認。

(資料7)

施策20—23に動物愛護推進員と協議会について記載。

(資料8・9)

うだ・アニマルパークと動物愛護センターについて。いのちの教育や動物愛護管理行政の拠点として、今後の推進員活動においてネットワークの一部として活用を期待。

### 3. 動物愛護推進員の推薦・委嘱について

奈良県動物愛護推進員設置要綱（案）及び今後の推進員候補推薦・委嘱のスケジュールについて協議。

- ・位置付け
- ・推薦・委嘱方針
- ・研修
- ・委嘱期間
- ・推進員の遵守事項
- ・活動等の報告
- ・解嘱
- ・費用

- ・推進員候補者は、動物愛護行政に協力する意欲のある者であるべき。
- ・推進員が活動していく上で、異なる推薦母体の推進員同士が協力しあうことも有効と思れる。具体的な例として「教職員である推進員」と、「ふれあい活動を行っている推進員」などが協力し合うことが考えられる。
- ・推進員は必要に応じて、保健所等と連絡を密にすることが望ましい。
- ・推進員を委嘱されたものが、これまで行ってきた愛護活動とは別に、新たな活動を増やすことは難しい。まずは現在行っている活動の中で、県の施策に沿った活動を行う者を中心に、推進員候補者の推薦を考えたい。
- ・推進員の活動報告は推進員の負担にならないよう、様式を定めることが望ましい。
- ・推進員の活動報告のとりまとめは、推薦者を経由することで情報の共有が期待できる。